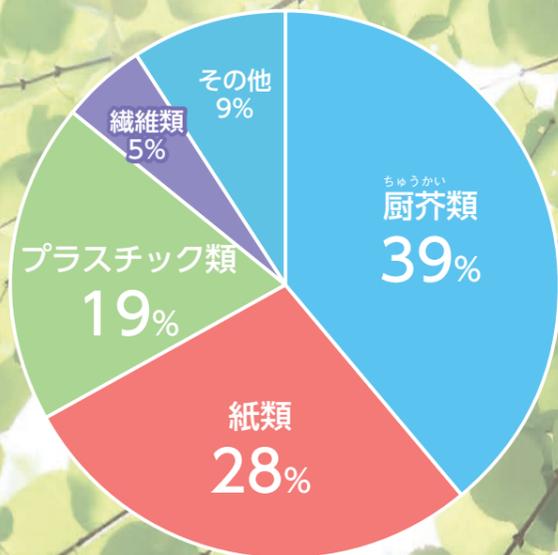


ごみを減らして すっきりスマート生活

地球のため、環境のため、持続可能な社会実現のため…
壮大で手の届かない話に聞こえますが、身近な暮らしの「ごみ」
を減らすことは誰にでもできることです。すっきりとスマートな
生活を目指し、一人一人がアクションすることから始まります。

環境政策課／Tel674-7486、資源循環推進課／Tel669-1886
エネルギーセンター／Tel669-1950、清掃業務課／Tel669-1153

可燃ごみ(家庭系ごみ)の組成



※厨芥類とは食品系の生ごみで
あり、調理くずや食べ残し、
手を付けていない食料品など
が含まれる

高槻市一般廃棄物処理基本計画より作成



ごみを減らすことは、焼却や埋め立て処理に伴う環境への負担、作業に伴うエネルギー消費を
小さくすることにつながります。そのために効果的なのが3つのR、Reduce (リデュース)、
Reuse (リユース)、Recycle (リサイクル) の取り組みです。私たちの生活を「ごみを出さ
ないライフスタイル」に変えていくことが大切です。少しずつ、今日から始めてみませんか。

Reduce

リデュース

発生抑制

ごみの発生や資源の
消費を元から減らす



身近な事例

- ごみになるものを
買わない、もらわない
- 長く使える製品を買う
- 手入れしながら長く使う
- マイバッグを持って
レジ袋を断る
- 詰替用がある製品を選ぶ
- 利用が少ないものは
レンタルやシェアする
- 資源を節約して作られた
製品を選ぶ

Reuse

リユース

再使用

繰り返し使うことで
ごみを減らす



身近な事例

- リターナブル容器*に
入った製品を選ぶ
 - 使い終わったら
リユース回収に出す
 - 着なくなった服をフリー
マーケットなどで人に譲る
 - 読まなくなった本を
古本屋に持って行く
 - 中古品店で購入する
- ※飲料用のビンのように、販売店で回
収して洗浄し、再利用する容器

Recycle

リサイクル

再生利用

資源として再び利用し
ごみを減らす



身近な事例

- 資源として分別する
- リサイクル製品を
積極的に利用する
- 家電リサイクルを正しく行う

※分別方法など詳しくは14ページへ

高 ← 優先度

新しいRの
考え方も
Renewable
リニューアブル
再生可能な資源に替える

3R+Renewableという考え方も近年
重要になってきています。例えば、レ
ジ袋やプラスチック製スプーンの多く
は石油由来ですが、これを植物由来の
プラスチックや木・紙製のものに切り
替える。このように、環境負荷の大き

いプラスチックから、再生可能な資源
に替えることがリニューアブルです。
買い物時にリニューアブルな素材を使
ったレジ袋や容器を選ぶことも一つの
取り組みです。

身近に楽しもう!皆さんの取り組みを紹介します



①「ブーツやかばんは親子で一緒に使っています」と仲良しの2人
②葉子さんの母も使っていたアクセサリを身に付ける ③受け継がれる着物（左が葉子さんの母の結婚式、中央が葉子さんの結納式、右が初音さんの成人式）

ものへの思いを大切に

-CASE1- 小林葉子さん(右)・初音さん(左)

「実はこれ、30年以上使っています」と葉子さん。靴やかばん、洋服など、ものをすぐに買い替えず、手入れしながら、長く大切に使います。「次第に自分の体になじんできて、お気に入りの愛着のあるものになる」と言います。長く使うコツは、流行に捉われず少し良いものを買うこと、修理店で修繕を頼んだり手入れのコツを学んだりすること。娘の初音さんも葉子さんのものを共用していて、

「祖母や母が使っていたものでも、良いものは流行り廃り関係なく使える」と言います。2人が大切にしているのはものにまつわる「思い出」。「例えば、この服を着て大切な人と会ったこと、大事な出来事があったこと。簡単に捨てるのではなく、譲ったり、リサイクルショップなどへ持って行ったりして誰かに受け継いでほしい。今も昔も変わらずものを大切にしていきたい」と話します。

ポイント

- 少し良いものを、長く大切に使う
- 捨てる前に思い出を振り返る



①悠義くん(左)、詩理くん(中)、煌介くん(右)はそれぞれ気になるおもちゃ、本を手にとってじっくり ②リユースに出されたおもちゃに夢中 ③施設の職員とも顔なじみで安心

譲り受けたものから繋がる輪

-CASE3- 平元香乃子さん

子どもが大きくなって使わなくなった服やおもちゃ、本などを引き取って、必要とする家族に渡す「リユース」の取り組みをする場所があります。この日、男の子3人を連れ、庄所子育てすすくセンターを訪れた平元さん。不要になった子ども用品を預け、代わりに気になったおもちゃを子どもたちが探します。「成長が早く、一時しか使わないものは特に助かります」

と平元さん。「子ども用品の譲り受けをきっかけに、ご近所の人と仲良くなり、輪が広がった」と言います。「仲の良いお兄ちゃんからもらったものだと、子どもも喜び、大事にします。シールや落書きも、自分が受け継いだと感じて、うれしいのかも」。譲り受けたものが、また次の世代へ。リユースの取り組みを通して、家族が、地域の人々が繋がります。

ポイント

- 子ども用品は譲り受けるものを積極的に使う
- 不要になったものは捨てずにリユース



ごみを出さないことを習慣化

-CASE2- 勢間省三さん

「一番大事なのは、ごみを出さないライフスタイルです」と話すのは、娘さんと2人で暮らす勢間さん。「我が家では、ごみがほとんど出ないです。それはほとんどがリサイクルできる商品を買って、分別してリサイクルにするから」。例えば雑がみでも、ごみにするのではなく、専用の袋を用意するのだそう。「何気なくポイッと可燃ごみにしてしまいがちですが、少し意識すると実はかなりリサイクルで

きます。私は6年くらい前から取り組んでいますが、可燃ごみの量がぐんと減りました」。また「調理や下ごしらえをしないので、生ごみはほとんど出ません」と勢間さん。「光熱費も少なく、シンプルな生活で時間も節約できています。生活を変えて実践してみると、目に見えて効果が出るので、継続する動機にもなります」。

ポイント

- ごみの出ないライフスタイルに転換
- こまめに分別



①「週に2回のごみの日でも、小さな袋1つ2つくらいで済むこともある」と勢間さん ②冷蔵庫の中は少なめに。その代わり災害時にも役立つように、日持ちする食料などをストックしている ③調理によるフードロス避けるためにお弁当などの選択肢も



①たい肥の作り方は、ほぼ「インターネットで学んだ」と原さん ②発酵が進んで、冬でも容器の中は30度以上になるそう ③公園美化活動もして、集まった落ち葉の一部をもらい受けている

生ごみや落ち葉から肥料へ

-CASE4- 原益枝さん

畑を借りて、家庭菜園を楽しむ原さん。「家で出る生ごみのほとんどは肥料になる」と言います。「田舎育ちだからか、ものを捨てるのがもったいないんです。捨てればごみ、でも何かに再利用できれば資源になります」。原さんの畑では生ごみや落ち葉を肥料にした「たい肥」を作り、土壌に混ぜて、養分にします。「たい肥作りは少し手間はかかるけれど難しくありません」と原さん。「元になるの

は家庭から出る生ごみと、近所に落ちている葉っぱです。納豆やみそなどの酵母を使って、数カ月発酵させることでできあがりです」。今では隣接する畑の友人からもたい肥がほしいと頼まれるそう。「日本人は古来から大地の恵みを大切に、資源を循環していく知恵を生活の中に根付かせてきました。私もその文化、精神を継承していきたい」と話します。

ポイント

- 生ごみを肥料にして有効活用
- 地域の清掃活動も参加して落ち葉拾い



暮らしの中の3つのアドバイス



前のページで見てきた皆さんは、普段の生活の中のちょっとした工夫でごみを減らすことに自然と取り組んでいます。ここでは、そのポイントをお伝えします。

私がお伝え
します



資源循環推進課
近田倫太さん

ID 002041

①確実に分けて資源に

ごみを出すときには、しっかり分別できれば、資源として再活用できます。捨てる前に、リサイクルに出せないか、市が作成したアプリなどで確認してください。

下記の分類で袋にまとめて出す

- 古紙類 (古紙、牛乳パック、雑がみ)
- 古布類 (古着、古布)
- あき缶類 (あき缶、スプレー缶*、金属製台所用品)
- あきビン
- ペットボトル

※中身を使い切ってから。詳しくは39ページへ

ID 002044

自治会や子ども会、老人クラブなど、地域でまとめて回収もできます。集団回収を活用すると、回収量に応じて奨励金が交付されます。

ID 002037

家庭で不要になったパソコンなどを無料で回収しています。リネットジャパンリサイクル(株)
Tel.0570-085-800

ID 002170

ごみの分け方や収集日が分かるスマホアプリ。アラームやカレンダー機能がとても便利です。



ID 001981

②購入時は特に意識して

3Rの実践は、買い物するときこそ最大の山場。11ページを参考に、意識して買い物してください。

また、市は、ごみの発生抑制・減量化・資源化に取り組む小売店や飲食店、サービス事業者などの店舗をエコショップとして認定しています。日頃通うお店にもステッカーがないか、ぜひ確認してください。



認定ステッカー
一部店舗では
資源物の回収
もしている

③ライフスタイルを見直す

例えば、食べ残し(フードロス)。食べれば、資源を有効活用できるだけでなく、そのごみを運ぶための燃料の削減、処理で発生する温室効果ガスの削減などの効果も期待できます。生活を少し見直して、ごみを減らすこと。ほんのちょっとした行動が未来を変えるかもしれません。



記録的な暑さや豪雨による被害。気候変動は私たちの生活に大きな影響を与えています。その対策として重要なのが脱炭素の考え方です。ごみの減量、3Rの推進は脱炭素社会の実現へ貢献できる最も身近な取り組みの一つです。限りある資源を未来へつなぐため、始めてみませんか。

ごみを減らして
将来世代へ限りある資源をつなごう！

学んで実践！

もう少し詳しく環境問題について、学んでみたい方、実践してみたい方、市の事業や補助金を利用しては。

専門家から学ぶ 市民環境大学

ID 059650 抽選20人

講義や自然観察など、高槻の自然環境を学びます。

日時 6月～来年2月 10:00～15:00 (全30回)
場所 生涯学習センターなど
料金 15,000円
問合せ 環境政策課 / Tel.674-7486、Fax.661-3198
申込 5/22(月)までに HP 窓 C F で
(基本事項と年齢記入)



環境展

5/10(水)～18(木)に市役所総合センター1階南側通路で、市が行う事業や環境保全活動に取り組む団体を紹介する展示をしています。ぜひお立ち寄りください。

街をきれいに 春季環境美化推進デー

ID 086312

みんなで街なかを掃除しましょう。市内5カ所を拠点にごみ拾いをします。
※雨天中止。駐車場なし。清掃用具は市で用意

日時 5/21(日) 9:00～10:30
場所 ・小寺池図書館
・市役所(総合センター前)
・阪急高槻市駅北側駅前広場
・芥川桜堤公園
・弁天公園
問合せ 清掃業務課 / Tel.669-1801



生ごみを堆肥化 容器購入に補助

ID 064613

生ごみの減量に取り組んでもらうため、生ごみ堆肥化容器を購入する市民を募集。市が費用の半額を補助します。購入前に申請してください。

補助 容器の購入費の2分の1 (上限4,000円)
※電源を必要とするものは対象外
問合せ 資源循環推進課 / Tel.669-1886
申込 5/1(月)～来年1/31(水)に 窓 郵 で (募集要項あり)



屋外用のほか、庭がなくても屋内で設置できる屋内用もあります

NEWS



新リサイクル施設稼働

ID 086977

4月からエネルギーセンターの新リサイクル施設が稼働しています。ここで圧縮梱包されたペットボトルは、民間の再商品化工場に運ばれ、繊維製品などに生まれ変わります。
廃プラスチックによる海洋汚染など、地球規模の諸問題に対応するためにも、安定したペットボトルの適正処理を続けていきます。